# 金融EDI（XML電文）の導入を起点とした企業の財務・決済プロセス全体の高度化（「企業の成長力強化のためのFinTechアクションプラン」等の取組み）

## 企業の財務・決済の川上（受発注や経理）から川下（決済や債権管理）プロセス全体がITで処理される

## フィンテック等を活用した企業の成長力強化

| 受発注・経理 | | 決済・送金 | 資金繰り・税務対応 | 債権管理など（手形・小切手） | 税・公金収納 |
|---|---|---|---|---|---|
| 電子的に記録する | 電子的にやりとりする | 受発注（商流）情報と決済を連携（金融EDI） | 連携されたデータを有効活用する | 債権管理も電子化する | 税・公金収納もITでシームレスに |
| 中小企業等を含む企業会計のIT・クラウド化 | 商流情報のIT化の推進 | XML電文への移行（送金電文に商流情報を搭載） | XML新システム等のデータを活用した融資サービス・税務対応の容易化等 | 電子手形・小切手への移行 | 税・公金収納の効率化 |
| ・中小企業等のIT・クラウド化率向上（今後5年間）<br>・IT導入支援事業(1万件超)(今年度中) | ・商流EDI共通化実証プロジェクト(今年度中)<br>・ブロックチェーンによる決済・物流情報の管理の実証実験(今年度中)<br>・XML新システムでの商流と金融EDIとの連携を検討（今年度中）<br>・XML新システム稼動(来年中)<br>・XML電文へ全面移行(2020年中)<br>・商流情報の標準化項目の普及(2020年度まで) | | ・XMLデータを活用した新たな融資サービス（2019年目処）<br>・XML新システムによる電子領収書発行等の税務対応支援（2019年目処） | ・官民の関係者による「電子化促進検討会」（今年秋頃） | ・納付書様式の一元化やフィンテック企業の活用、ペーパーレス化の推進等を通じた、税・公金収納の効率化を図るため、官民一体で取組みを推進（今後、地方自治体等にも連携を呼びかけ） |

**全銀システムの24時間365日対応化・法人のネットバンキング利用の促進**

・全銀システムの24時間365日対応化（2018年中）
・法人のネットバンキング利用の推進に向けた進捗状況のフォローアップ